

第63回男子・第36回女子全日本学生ホッケー選手権大会 結果報告

第63回・第36回女子男子全日本学生ホッケー選手権大会

第 1 日

開催日時 11 月 1 日 (土)

会場

岐阜県グリーンスタジアム

天候

雨

【全試合結果】

A第1試合 女子 9:30	聖泉大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$	0	中京大学
2 SO 3					
A第2試合 女子 11:10	山梨学院大学	12	$\begin{pmatrix} 8 & - 0 \\ 4 & - 0 \end{pmatrix}$	0	立教大学
A第3試合 男子 12:50	関西学院大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 0 & - 2 \end{pmatrix}$	3	慶應義塾大学
A第4試合 男子 14:30	北海道大学	1	$\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 1 & - 3 \end{pmatrix}$	3	中京大学
B第1試合 女子 9:30	立命館大学	10	$\begin{pmatrix} 4 & - 0 \\ 6 & - 0 \end{pmatrix}$	0	北海道大学
B第2試合 女子 11:10	東京農業大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 0 & - 2 \end{pmatrix}$	3	天理大学
B第3試合 男子 12:50	京都大学	1	$\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 1 & - 1 \end{pmatrix}$	2	甲南大学
B第4試合 男子 14:30	学習院大学	3	$\begin{pmatrix} 2 & - 0 \\ 1 & - 1 \end{pmatrix}$	1	関西大学
会場 岐阜総合学園高等学校					
C第1試合 9:30	東京大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 1 \\ 0 & - 3 \end{pmatrix}$	4	東海学院大学
C第2試合 11:10	武蔵大学	0	$\begin{pmatrix} 0 & - 2 \\ 0 & - 7 \end{pmatrix}$	9	東京農業大学
C第3試合 12:50	神戸大学	1	$\begin{pmatrix} 1 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix}$	0	一橋大学
C第4試合 14:30	法政大学	2	$\begin{pmatrix} 2 & - 0 \\ 0 & - 1 \end{pmatrix}$	1	福井工業大学

【各試合の結果・詳細】

第1試合

聖泉大学 0 $\left(\begin{array}{c} 0 - 0 \\ 0 - 0 \end{array} \right)$ 0 中京大学
2 SO 3

<得点>

聖泉大 :
中京大 :

<戦評>

聖泉大学のセンターパスにより前半戦が開始。悪天候のためグラウンド状況が悪く、両チームともボールが上手く運べない。13分中京は左サイドのロングボールからPCを取得。#9廣瀬のシュートに#8城光寺が合わせることが出来ず、得点には至らない。22分中京は再びPCを取得。#9廣瀬が右からフリーでヒットシュートを打つも、聖泉#12GK古川のセーブにより得点には至らない。29分聖泉は混戦の中からPCを取得するも、先制点を取ることが出来ない。そのまま両チームとも得点をする事が出来ず、前半戦を折り返した。
後半戦の開始早々、中京は#11竹市がPCを取得するも得点には至らない。聖泉は短いパスを上手く使い、中京のサークル内に攻め込む。47分中京の#8城光寺にグリーンカードが課せられ、チャンスとなった聖泉は#19川原がヒットシュートを打つも、中京GK#1山口がゴールを死守する。中京は果敢にシュートを狙うが、聖泉の粘り強い守備で得点には至らない。両チーム無得点のままSO戦にもつれ込んだ。
SO戦は、後攻の中京#11竹市が右にかわしシュートを決める。2人目の聖泉は決めるものの、中京はGK#12古川がゴールを守り、1-1の同点に持ち込む。3人目は中京#19武田が決め、2-1とする。4人目は聖泉#4瀬川のスクープで決め、中京も#9廣瀬のプッシュシュートが決まり、3-2とする。5人目の聖泉#17土井がリバーススイープを打つが惜しくも枠外に外れ、3-2で中京が次にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	岩田 順充		山口 千恵美
	細江 秀和	リザーブアンパイア	藤原 信幸

第2試合

山梨学院大学 12 $\left(\begin{array}{c} 8 - 0 \\ 4 - 0 \end{array} \right)$ 0 立教大学

<得点>

山梨学院大 : 5分狩野、12分河村、14分藤井、17分河村、22分佐藤、25分田中、26分五島、30分佐藤
49分河村、58分浦島、59分佐藤、65分浦島

立教大 :

<戦評>

立教大学のセンターパスにより前半戦が開始。早々に山梨学院大学がPCを取得するが、得点には至らない。その後5分#26河村のリバースパスに#23狩野が合わせ、先制点をあげる。13分山梨の#26河村がサークル内にパスされたボールを、ターニングでGKをかわし得点を決め2-0とし、続けて12分にPCを取得した山梨は#20藤井がプッシュシュートを決め、3-0とする。立教はサイドから攻撃を仕掛けるが、山梨の堅い守備により、23m内に持ち込むことが出来ない。その後、勢いのある山梨は17分、22分、25分、26分に追加点を上げ、7-0と点差を広げる。立教は山梨の猛攻をGK#1安藤を中心に粘り強い守備を見せる。その後30分山梨の#8佐藤がプッシュシュートを決め、8-0とし前半戦を折り返した。
後半戦の開始早々、山梨はPCを取得するが、得点には至らない。立教もチャンスを伺うがサークルに入ることができず、シュートを打つことが出来ない。山梨は43分、44分にPCを取得するものの追加点とはならない。49分山梨がPCを取得し#26河村がリバウンドボールを決め、9-1とする。その後58分59分、65分に追加点を上げ、12-0で山梨が次にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	倉嶋 勇	アンパイア	千野 雅人
ジャッジ	梶田 賢二		渡辺 健一
	浅野 一生	リザーブアンパイア	野澤 達

第3試合

関西学院大学 0 $\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$ 3 慶應義塾大学

<得点>

関西学院大 : 3分谷、47分谷、66分福谷

慶應義塾大 :

<戦評>

関西学院大学のセンターパスにより前半戦が開始。3分慶應義塾大学#12佐藤の左からのセンターリングに#4谷がフリーで合わせ、先制点を上げる。11分関西学院はPCを取得するも、得点には至らない。両者とも悪天候に動じない激しい攻防が繰り広げられる中、関西学院は右からの突破からチャンスを作るも、慶應の堅い守備によりDFラインを突破することが出来ない。慶應は長いスクープからチャンスを量産するも、追加点を得ることが出来ず、前半戦を折り返した。

後半戦が開始され、40分、41分と立て続けに慶應がPCを取得するも、得点には繋がらない。47分慶應#3細いからのクロスボールを逆サイドの#谷がリバースで合わせて2-0と点差を広げる。関西学院はスピードあるドリブルで攻撃を仕掛けるが突破することが出来ない。勝負に出た関西学院は59分にパワープレーに出る。61分関西学院#30湯澤がプッシュアップでシュートを狙うが惜しくも枠を外れて得点には至らない。66分慶應#19福谷が豪快なヒットシュートを決め、3-0と追加点をあげる。そのまま試合は終了し、慶應が次にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	今庄 充世	アンパイア	藤原 信幸
ジャッジ	岩田 順充		細川 裕司
	細江 秀和	リザーブアンパイア	我妻 順子

第4試合

北海道大学 1 $\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 1 - 3 \end{pmatrix}$ 3 中京大学

<得点>

北海道大 : 40分市川、48分藤田、69分汲田

中京大 : 70分大崎

<戦評>

中京大学のセンターパスにより前半戦が開始。両チーム共にパスカットから攻撃をしかけてシュートを打つが、どちらも先制点を上げることが出来ない。中京は#7藤田、#11白木を中心とした巧みなドリブルやパスワークで試合を優位に進める。18分中京はPCを取得。北海道大学の一番騎#6梅原による好セーブで得点を阻まれる。20分、21分と立て続けに中京がPCを取得するも得点には至らない。PCからの速攻で北海道は中京陣内に攻め込みセンターリングを打つが、チャンスには結びつかない。両チーム共に無得点のまま前半戦を折り返した。

後半戦が開始され、38分中京がPCを取得。#13朝倉がドラッグシュートを打つが、北海道#21赤沼の好セーブにより得点にはならない。40分に再び中京がPCを取得。#5市川のスイープシュートにより先制点を上げる。北海道はパスカットからスピードあるドリブルでシュートを狙うが惜しくも枠を外れる。48分中京がPCを取得。#7藤田がリバースシュートを決め2-0とする。北海道は何度も攻め込むが、中京の守備に阻まれる。69分中京#8汲田がリバースシュートを決め3-0とリードを広げる。70分北海道#14大崎が得点を決めるも追い付くことは出来ず、3-1で中京が次にコマを進めた。

テクニカルオフィサー	倉嶋 勇	アンパイア	野澤 達
ジャッジ	梶田 賢二		堀江 紀之
	浅野 一生	リザーブアンパイア	山口 千恵美

Bコート
第1試合

立命館大学 10 $\begin{pmatrix} 4 - 0 \\ 6 - 0 \end{pmatrix}$ 0 北海道大学

<得点>

立命館 : 4分一谷(奈)、23分塩入谷、25分笠丸、28分笠丸、37分塩入谷、40分笠丸、43分畑野、
60分一谷(奈)、60分横田、65笠丸

北海道 :

<戦評>

北海道大学のセンターパスにより前半戦が開始。開始早々、立命館大学は立て続けに1分、3分、4分とPCを取得。4分に#17一谷奈がPCのリバウンドを押し込み先制点をあげる。その後も立命館のペースで試合が進み、14分に再びPCを取得するが、北海道の粘り強いDFにより得点には繋がらない。北海道も懸命に前線へボールを運ぶが、雨によりグランドコンディションが悪く、なかなかチャンスを得られない。23分、立命館の冷静なパス回しから#9塩入谷がプッシュシュートを決め、2-0とリードを広げる。25分、28分と立て続けに#15笠丸がシュートを決め4-0で前半戦を折り返す。
後半に入っても立命館ペースで試合が進み37分#9塩入谷がループシュートを決め5-0とする。さらに40分#15佐々木、43分#6畑野が得点し7-0とリードを広げる。対する北海道も粘り強いDFからゴールを目指すも得点することが出来ない。立命館は60分PCを取得し#17一谷奈が決め、同60分#20横田がプッシュシュートを決める。65分#15笠丸が得点し10-0で立命館が圧勝した。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	水谷 理恵
ジャッジ	苅谷 和代		細江 紀之
ジャッジ	岩田 武男	リザーブアンパイア	山中学

第2試合

東京農業大学 0 $\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 2 \end{pmatrix}$ 3 天理大学

<得点>

東京農業大学:

天理大学 : 25分江村、47分勝又、61分松本

<戦評>

東京農業大学のセンターパスにより前半戦が開始。雨により足元が重く両チームとも上手くボールが進まない中、天理大学は3分、5分にPCを取得。しかし雨の影響もあり得点することが出来ない。東京農業も反転パスからサークルインするも天理の堅い守備に阻まれる。17分、19分、22分に立て続けに天理はPCを取得するが東京農業GK#1柏木に阻まれ得点には至らない。試合が動いたのは25分、天理#10江村がヒットシュートを決め、1-0で前半戦を折り返す。
後半戦に入り、天理はセンターパスから一気にサークルまで持ち込むがGK#1柏木の好セーブにより得点には至らない。東京農業もサークルインし#8平石がヒットシュートを打つが惜しくも得点には至らない。47分、#29勝又のヒットシュートで2点目を得た天理はそこから波に乗り、53分、54分とPCを取得するなど果敢な攻撃を見せる。61分、天理はPSを取得し#11松本が確実に決め3-0とリードを広げる。試合はこのまま終わり、3-0で天理大学が勝利した。

テクニカルオフィサー	栗原 和世	アンパイア	藤原 真由美
ジャッジ	大河内 宏之		脇本 絵麗奈
ジャッジ	蔦木 勝	リザーブアンパイア	成田 健一

第3試合

京都大学 1 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$ 2 甲南大学

<得点>

京都大学 : 42分猪伏

甲南大学 : 3分中井、54分齊藤

<戦評>

甲南大学のセンターパスにより前半戦が開始。開始早々甲南が攻め、3分#3中井がヒットシュートを決め、先制点を挙げる。9分、京都も前線でボールを奪い#27猪伏の左からの回り込みでPCを取得。しかし、シュートは枠に入らず得点には至らない。12分に京都は再びPCを取得するが甲南GK#1津江に阻まれ得点することが出来ない。両チームともスクープからチャンスを作ろうとするもなかなかサークルイン出来ず攻防が続く。24分、甲南がPCを取得し#2杉野がドラックで高めを狙うも、京都GK#1津江の好セーブに阻まれる。1点を取り返したい京都は27分PCを取得するが、得点には至らない。試合はこのまま動かず1-0で前半戦を折り返す。

後半も雨でグラウンドコンディションが悪く、互いにスクープを多く使う展開となった。激しい攻防が続く中、42分、京都はゴール前までボールを持ち込み#27猪伏がタッチシュートを決め、1-1の同点となる。54分、甲南は#18齊藤のリバースブッシュによる得点で再び2-1とリードする。その後も攻防が続き、両者ともチャンスを得るが得点には繋がらず2-1で甲南大学が勝利した。

テクニカルオフィサー	大橋 守	アンパイア	Fong Geng
ジャッジ	苅谷 和代		木下 英貴
ジャッジ	岩田 武男	リザーブアンパイア	水谷 理恵

第4試合

学習院大学 3 $\begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$ 1 関西大学

<得点>

学習院大学 : 6分平野、15分樋口、65分泰道

関西大学 : 53分井上

<戦評>

学習院大学のセンターパスにより前半戦が開始。雨の中での試合となり両チームともスクープで前線を狙う。6分、学習院#6平野が味方のロングヒットをタッチし、先制点を挙げる。さらに15分、PCを取得した学習院は#2樋口のタッチシュートにより2-0とリードを広げる。対する関西大学は23分、中盤からのパスでチャンスを作り、#7小林がリバースシュートを打つも枠に入らず得点には至らない。27分、29分と学習院は立て続けにPCを取得するが、関西の堅い守備に阻まれ2-0で前半戦を折り返す。

後半に入り得点の欲しい関西は36分にPCを取得。右側からヒットシュートを打つが学習院のDFIに阻まれ得点には至らない。激しい攻防が続く中、48分学習院#3京谷がリバースシュートを打つが関西GK#12栗田に阻まれ得点には至らない。53分関西はPCを取得。#20井上が敵をかわしスリーブシュートを決め、2-1と点差を縮める。その後追加点を狙う学習院が65分、PCから#18泰道がブッシュシュートを決め3-1で学習院大学が勝利した。

テクニカルオフィサー	栗原 和世	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	蔦木 勝		山中学
ジャッジ	大河内 広之	リザーブアンパイア	脇本 絵麗奈

Cコート
第1試合

東京大学 0 $\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 3 \end{pmatrix}$ 4 東海学院大学

<得点>

東京大 :

東海院大 : 17分#8川上、46分#10若林、50分#21青山将、70分#13三島

<戦評>

雨の中、東海学院大学のセンターパスで前半が開始された。立ち上がりから東海院大が果敢に攻め、前半4分にPCを獲得するも得点には繋がらない。その後も、東海院大のペースで試合が進むが東京大学の堅い守備に阻まれる。東京大がPCを獲得したが決めることができず、前半17分カウンターから東海院大が2回目のPCを獲得。#8川上がスィープシュートを決め先制点を挙げる。両チーム激しい攻防が続く中、東海院大がフリーでシュートをするが、東京大のGK#1大野の好セーブに阻まれ得点出来ず、前半戦が終了した。東京大のセンターパスで後半が開始された。両チームともシュートチャンスを作るが、GKの好セーブで得点することができない。46分東海院大#10若林がリバウンドを押し込み追加点を挙げ2-0とする。勢いに乗った東海院大は、50分に#21青山将がヒットシュートを決め3-0、終了間際の70分には#13三島がヒットシュートを決め4-0とし試合が終了。東海院大が2回戦に進出した。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	穴井 猛司
ジャッジ	後藤 憲則・辻 幹彦		常喜 浩幸

第2試合

武蔵大学 0 $\begin{pmatrix} 0 - 2 \\ 0 - 7 \end{pmatrix}$ 9 東京農業大学

<得点>

武蔵大 :

東農大 9分・36分・67分#5松井、16分#7岩崎、39分#9松村、41分#22萩澤、49分#小野、69分#14瀬川、70分#10三浦

<戦評>

武蔵大学のセンターパスにより試合が開始された。前半8分東京農業大学#9松井がブッシュシュートで先制点をあげる。さらに、15分にも得点を決め、東京農業大学が優位に試合を進めていく。一方武蔵大学もチャンスを作るが、得点に結びつけることができない。その後、互いにチャンスを決めきれず2-0東京農業大学がリードのまま前半が終了した。
後半開始早々、東京農業大学が右から打ち込んだボールが相手選手に当たり得点となる。一矢報いたい一橋大学も華麗なパスワークから東京農業大学ゴールへと迫るが、ゴールを割るまでには至らない。東京農業大学は39分、41分、49分、69分、70分と得点を積み重ね、終始試合を優位に進めた東京農業大学が二回戦へと駒を進めた。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	山本 誠
ジャッジ	大橋 俊彦・西脇 栄子		森本 道理

第3試合

$$\text{神戸大学 } 1 \begin{pmatrix} 1 & - 0 \\ 0 & - 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 一橋大学}$$

<得点>

神戸大 : 20分#7若林

一橋大 :

<戦評>

神戸大学のセンターパスで前半が開始された。開始から両チーム激しい攻防が繰り広げられる。神戸大学は2分PCを取得しフリックシュートをするが、一橋大学GKの好セーブにより得点には繋がらない。一橋大学も8分にPCを取得するが、こちらも神戸大学の堅守により得点することができない。試合が動いたのは18分神戸大学がPCを取得し、スイープシュートを決める。その後、両チームの堅守がひかり、得点出来ないまま1-0の神戸大学リードで前半を終える。後半が開始され、前半と同様、一進一退の攻防が繰り広げられる。一点が欲しい一橋大学はドリブルでサークルに持ち込みチャンスを作るが、神戸大学の堅いDFに阻まれる。66分一橋大学はパワープレーをし、果敢に攻めるが得点に結びつかず1-0のまま神戸大学が勝利した。

テクニカルオフィサー	鹿野 育郎	アンパイア	松原 久
ジャッジ	後藤 憲則・辻 幹彦		朝倉 紀英

第4試合

$$\text{法政大学 } 2 \begin{pmatrix} 2 & - 0 \\ 0 & - 1 \end{pmatrix} 1 \text{ 福井工業大学}$$

<得点>

法政大 : 30分#17木原、33分#後藤

福井工大学 : 56分#安川

<戦評>

法政大学のセンターパスで前半戦が開始された。前半2分、5分と法政大学がPCを取得するも福井工業大学の堅い守備により得点に結び付かない。さらに前半28分、決定的なチャンスを作るがゴールポストに嫌われ追加点を奪えない。一方、福井工業大学は果敢に攻めるも得点に結びつけない。試合が動いたのは前半29分、法政大学は#17木原がドリブルで持ち込みキーパーまでも抜き待望の先制点をあげた。これで勢いがつき、前半32分にも追加点を挙げ、2-0で法政大学がリードで前半が終了した。
後半開始早々、一点を返したい福井工業大学が法政大学陣内へ攻め入るも得点することができない。福井工業大学は55分PCを取得。これをリバウンドを押し込み一点を返す。しかし、反撃もここまで、逃げ切った法政大学が二回戦に駒を進めた。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	大橋 俊彦・西脇 栄子		石橋 徹也